

平成 15 年 11 月 17 日

各 位

会社名 株式会社日本トリム
代表者名 代表取締役社長 森澤紳勝
(コード番号 6788 東証第 2 部)
お問合せ先 経営企画部係長 大貝哲也
(TEL. 06 - 6456 - 4600)

業績予想の上方修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 19 日の決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) 通期の業績予想を下記のとおり上方修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 16 年 3 月期単体業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,811	1,750	876
今回修正予想 (B)	10,216	2,317	1,225
増減額 (B - A)	1,405	567	349
増減率 (%)	115.9	132.4	139.8

(ご参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 266 円 30 銭

2. 平成 16 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,811	1,722	820
今回修正予想 (B)	10,216	2,308	1,204
増減額 (B - A)	1,405	586	384
増減率 (%)	115.9	134.0	146.8

(ご参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 261 円 73 銭

3．修正の理由

弊社は水を電気分解して得られる、還元性（抗酸化性）を持った水、「電解還元水」の研究開発及びこれを生成する電解還元水整水器の製造販売を主事業と致しております。

電解還元水の研究開発につきましては、本年6月に九州大学大学院との抗糖尿病に関する共同論文が蘭学術誌「サイトテクノロジー」へ、7月には台湾大学医学部との人工透析への応用に関する共同論文が米医学誌「キドニーインターナショナル」へ掲載されるなど着実に進展致し、PR活動と合わせ、当社製品のブランド力の向上に寄与致しました。

営業部門につきましても、当初公表計画に織り込んでいなかった事業部門の強化が順調に進みました。そして、平成15年10月14日の中間期業績上方修正の際、お知らせ致しました通り、今回、平成16年3月期、通期の業績予想を上方修正するものであります。

また、1999年に設立した異常遺伝子診断キットの開発を主事業とする米国連結子会社 TrimGen Corporation（トリムジンコーポレーション：100%出資子会社）は11月1日、日本トリム本社内に日本支社を設立致しました。

日本支社設立を前に製品PRのため出展した、第62回日本癌学会総会（本年9月25日～27日、名古屋国際会議場で開催）では大変好評を得、複数の引き合いを頂戴致しております。

これを契機に日本国内での医療機器メーカー、各研究機関や大学などへの働きかけを強化しつつ、事業立上げを行います。

今後、日本トリムグループは、日本トリムの「電解還元水」と TrimGen Corp.の「遺伝子診断キット」を基盤とし、医療分野への進出等、新たなステージへ向け邁進致して参ります。

以 上